

平成 29 年 度
大学院医学研究科（博士課程）

科目等履修生募集要項

北陸がんプロフェッショナル インテンシブ医師系



金 沢 医 科 大 学

石川県河北郡内灘町大学 1 丁目 1 番地

〒920-0293 TEL(076)286-2211

平成29年度 大学院医学研究科科目等履修生募集要項
(北陸がんプロフェッショナル インテンシブ医師系)

特定の臓器領域（消化器、呼吸器、婦人科）の診断・手術療法・化学療法・放射線療法・緩和ケアなどの高度な専門的知識・技術を習得したい方を募集します。

1 募集人員 3名

2 受講料 無料

3 出願資格

- (1) 大学（医学課程）を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
- (2) 各学会の認定医・専門医等の資格を取得した医師

4 出願手続

(1) 出願期間

随時受付しています。

- ① 持参する場合…平日は午前9時から午後5時まで、土曜日は正午までとします。
(日曜日、祝日を除く)
- ② 郵送する場合…所定の出願封筒により「書留速達」で郵送してください。

(2) 出願書類

① 入学願書	所定用の紙に必要事項を記入し、所定欄に写真1枚（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
② 卒業証明書又は 修了証明書	最終出身学校の卒業証明書又は修了証明書を提出してください。 本学医学部卒業者は不要です。
③ 認定医・専門医資格 証明書の写	学会の認定医・専門医等の資格を取得した者はその証明書の写しを提出してください。
④ 受験承諾書 (該当者のみ)	病院、研究所等に勤務する者は、その所属長の署名、印を受けてください。

(3) 出願書類提出先

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
金沢医科大学 教学課（大学院担当）
TEL (076) 286-2211 内線(2521～2523)

5 選考方法

書類選考により、総合的に判定します。

6 合格発表

本人に文書で通知します。

7 在学期間

平成30年3月31日迄としますが、願い出により継続可能です。

8 その他

(1) e-Learning 教材は個人の接続端末を使用するため、履修にあたっては、各自「がんプロホームページ」<http://www.gan-pro.com/>にアクセスし、デモンストレーション画像が見られるパソコン環境にあるか必ず確認してください。

(2) 個人情報の取り扱いについて

出願及び入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、入学選抜、入学手続などを行うために利用します。その他の目的に利用することはありません。

お問合せ先

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

金沢医科大学 教学課 (大学院担当)

TEL (076)286-2211 内線(2521~2524)

E-mail d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

I. 履修方法

各科目約60分×6回（腫瘍病理学演習は7回、臨床統計学演習は12回）のビデオ講義を聴講し、小テスト・レポート提出等をしたうえ、北陸がんプロキヤンサーボード症例検討会に各科目1回以上参加することによります。

■ 開講科目（各1単位）

腫瘍薬物学特論^{*}、腫瘍放射線医学特論^{*}、がん緩和医療学特論^{*}、
腫瘍病理学特論、臨床腫瘍学特論、がん外科学特論、分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、
臨床栄養学特論、臨床統計学演習、腫瘍病理学演習、分子生物学入門、コンサルテーション論

^{*}「がんプロエキスパート医」認定に際し、必修科目となります。

■ e-Learning 科目の単位認定要件

- ・ 各科目（各1単位）6回の講義（約60分）と15分程度の確認テスト
- ・ 確認テストは3問、正解が2問に満たない場合は再受験
- ・ 再受験を含め3回まで受験可能
- ・ 6回の講義のうち、4回以上の講義が「可」以上となれば、その科目は「合格」
- ・ 定められた期日開催のテレビ会議システム使用による北陸がんプロキヤンサーボード症例検討会に各科目1回以上参加

■ 北陸がんプロキヤンサーボード症例検討会

従来の縦割りの診療科の垣根を取り払い、内科、外科、放射線科、麻酔科、精神科、緩和医療科、病理学、看護学、薬理学、リハビリテーション医学、栄養学、心理社会学などの各専門家が、一同に集まり、1つの症例に対する治療法を包括的に議論する場です。

エビデンスに基づいた有効性の高い集学的治療法を決定し、疾患の種類や病期、合併症、更には患者の意志を尊重した、最適で包括的な治療方針を提示・実践している。

金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学（4大学）の持ち回りで毎月2回テレビ会議システムを利用し開催され、北陸3県のがん診療連携拠点病院等も参加しています。

- ・ 本学会場 基礎研究棟3階 大学院セミナー室（テレビ会議室）
- ・ 開催日 毎月2回（年間24回）

e-mailおよびホームページにおいて随時案内します。

（アドレス：<http://www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/top.html>）

II. シラバス

(各1単位)

科目名		講義内容	講義担当
腫瘍薬物学特論 (必修) e-Learning	抗がん剤の基礎的知識および、作用機序と有害事象についての理解を深める。効果予測因子としてのバイオマーカーについても最新の知識を学ぶ。	化学療法総論 (1)	矢野聖二 金沢大学
		化学療法総論 (2)	矢野聖二 金沢大学
		がん化学療法の薬理学 (1)	西尾眞友 金沢医科大学
		がん化学療法の薬理学 (2)	西尾眞友 金沢医科大学
		分子標的治療	山田忠明 金沢大学
		消化器悪性腫瘍に対する分子標的治療薬の作用機序と臨床成績	渡邊弘之 福井済生会病院
腫瘍放射線医学特論 (必修) e-Learning	根治療法および緩和療法としての放射線療法の適応や、治療計画および線量測定の原理を理解する。放射線治療の急性作用と遅発性作用の両方を把握する。	総論	高仲強 金沢大学
		放射線生物学	塩浦宏樹 福井大学
		放射線腫瘍学・治療学各論	的場孝孝 金沢医科大学
		密封小線源治療	小川心一 木沢記念病院
		アイソトープ治療 (内容療法)	絹谷清剛 金沢大学
		放射線治療をうける患者の看護	小川外志江 金沢大学
がん緩和医療学特論 (必修) e-Learning	がん緩和療法に用いる薬剤の作用を理解し、緩和療法とはどのようなものであるかを認識する。緩和療法・支持療法における和漢薬の使い方についても理解を深める。	がん疼痛緩和と医療用麻薬製剤について -その1-	山本奈歩 金沢大学
		がん疼痛緩和と医療用麻薬製剤について -その2-	原 祐輔 金沢大学
		がん性疼痛を有する患者の看護(1)	丸谷晃子 金沢大学
		がん性疼痛を有する患者の看護(2)	稲垣美智子 金沢大学
		がん性疼痛治療の実際	山田圭輔 金沢大学
		精神科からのアプローチ 緩和医療	金田礼三 金沢大学
腫瘍病理学特論 (必修) e-Learning	がんの確定診断と重症度・進展度を判断する上での病理学的診断の重要性を理解する。各種がん細胞における病理学的特徴についての知識を習得する。	Fluorescence in situ hybridization で見る癌細胞における遺伝子増幅 原発性肝癌の臨床病理学的特徴と発癌・進展機構	大井章史 金沢大学 佐々木素子 金沢大学
		発ガンメカニズムとがん化学予防	清川悦子 金沢医科大学
		上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の病理学的特性—肉腫の分類と組織診断— 肺癌の病理 up to date カルチノイド腫瘍	野島孝之 金沢医科大学 上田善道 金沢医科大学 高野康雄 神奈川県がんセンター 臨床形態学

(各1単位)

科目名	講義内容		講義担当
臨床腫瘍学特論 (必修) e-Learning	治療の一般原則を理解したうえで、各種のがん治療および各種悪性腫瘍に特有で考慮すべき事項について指導を受ける	急性骨髄性白血病 Acute myeloid leukemia (AML)	奥村廣和 金沢大学
		呼吸器悪性腫瘍	笠原寿郎 金沢大学
		乳がん	井口雅史 金沢大学
		カウントダウン 子宮頸癌ゼロの日	井上正樹 金沢大学
		泌尿器悪性腫瘍	溝上敦 金沢大学
		消化器悪性腫瘍	元雄良治 金沢医科大学
がん外科学特論 (必修) e-Learning	外科医とともに、手術の適応および禁忌の理解を深め、悪性疾患患者の病期分類、根治療法、緩和治療における手術の役割を熟知する。	腫瘍外科治療の最前線 膵癌の臨床	太田哲生 金沢大学
		腫瘍外科治療の最前線 ー肺癌ー	田村昌也 福井県立病院
		増加する乳癌、大きく変わる乳癌手術	野口昌邦 金沢医科大学
		胃癌	小坂健夫 金沢医科大学
		肝臓癌の診断と治療	塚田一博 富山大学
		腫瘍外科治療の最前線 ー大腸癌ー	山口明夫 福井大学
腫瘍薬物学演習 (必修)	北陸がんプロキヤンサーボード・症例検討会に参加 (6回)		4 大学持ち回りで開催
腫瘍放射線医学演習 (必修)	北陸がんプロキヤンサーボード・症例検討会に参加 (6回)		4 大学持ち回りで開催
がん緩和医療学演習 (必修)	北陸がんプロキヤンサーボード・症例検討会に参加 (6回)		4 大学持ち回りで開催
腫瘍病理学演習 (必修) e-Learning	腫瘍病理学特論で学習した「腫瘍の特性」を基に、演習ではバーチャルスライドを用いて、甲状腺、消化管、肝胆膵、呼吸器、婦人科、骨軟部、リンパ節骨髄などの各臓器の代表的な病理組織像を学ぶ。	消化管腫瘍の病理演習	伊藤浩史 福井大学
		肝・胆・膵腫瘍の病理演習	全陽 金沢大学
		呼吸器腫瘍の病理演習	湊 宏 金沢医科大学
		婦人科腫瘍の病理演習	車谷宏 石川県立中央病院
		骨軟部腫瘍の病理演習	野島孝之 金沢医科大学
		リンパ節・骨髄腫瘍の病理演習	石澤伸 富山県立病院
		甲状腺腫瘍の病理演習	今村好章 福井大学
臨床腫瘍学演習 (必修)	北陸がんプロキヤンサーボード・症例検討会に参加 (6回)		4 大学持ち回りで開催
がん外科学演習 (必修)	北陸がんプロキヤンサーボード・症例検討会に参加 (6回)		4 大学持ち回りで開催
分子腫瘍学特論 (選択) e-Learning	腫瘍の発生・増殖・進展の各過程で役割を果たす様々な遺伝子や分子について、基本的な分子生物学的、生化学的解説を行う。	分子腫瘍学概説	伊藤浩史 福井大学
		がん遺伝子	横田義史 福井大学
		がん抑制遺伝子	大島正伸 金沢大学
		がんの転移・浸潤に関わる遺伝子や分子	佐藤博 金沢大学
		アポトーシス関連遺伝子の特徴や機能	須田貴司 金沢大学
		がん転移と細胞接着～接着抑制によるがん転移の抑制～	済木育夫 富山大学

(各1単位)

科目名		講義内容	講義担当
臨床統計学特論 (選択) e-Learning	がん臨床に必要な統計学の基本的な考え方、臨床研究デザイン、メタアナリシス、QOL評価、単変量解析および多変量解析について理解を深める。	統計的考え方の基本	折笠秀樹 富山大学
		臨床試験のデザイン Meta-analysis	酒井弘憲 富山大学 酒井弘憲 富山大学
		QOL 評価 単変量解析 (t-test, Wilcoxon test, chi-square test, Fisher test)	折笠秀樹 富山大学 折笠秀樹 富山大学
		多変量解析 (multiple regression, logistic regression, survival analysis, repeated measures)	折笠秀樹 富山大学
臨床栄養学特論 (選択) e-Learning	がん臨床における栄養摂取、代謝などの変化を理解し、がん診療に必須の栄養学を多方面からのアプローチで習得する。	がんの化学療法時の栄養管理 栄養障害が生体にもたらす影響 特殊病態の栄養管理	大村健二 上尾総合病院 片山寛次 福井大学 大村健二 上尾総合病院
		栄養アセスメントと必要量の設定	片山寛次 福井大学
		栄養療法の実際 周術期の栄養管理	片山寛次 福井大学 大村健二 上尾総合病院
		統計学の基本事項の確認の後に、例題・演習を通じてより実践的な統計力を身につける。専門的な統計処理ソフトを使うことなく、身近な表計算ソフトを十分に活用できるようにする。 ※必修受講講義6講義のうち、4講義以上の合格(各講義100点満点中66点以上)をもって単位認定する。	基本統計量 [必修受講講義] 相関 (パラメトリック) [必修受講講義] 相関 (ノンパラメトリック) [自由受講講義] 対応がない t 検定 [必修受講講義] 対応がある t 検定 [必修受講講義] マン・ホイットニーの検定 [自由受講講義] ウィルコクソンの符号付順位検定 [自由受講講義] 比率の検定 (χ^2 乗検定) [必修受講講義] 分散分析 (一元配置分散分析) [必修受講講義] クラスカル・ウォリスの検定 [自由受講講義] 生命表解析 [自由受講講義] 生命表解析 - 2つの生存曲線の比較方法 - [自由受講講義]
分子生物学入門 (選択) e-Learning	最新の分子生物学の内容を分かりやすく概説し、理解を深める。	細胞のなりたち	竹上勉 金沢医科大学
		DNA、RNA そしてタンパク質	東海林博樹 金沢医科大学
		DNA 障害とがん化	石垣靖人 金沢医科大学
		遺伝子発現とがん化	竹上勉 金沢医科大学
		細胞周期とがん化	岩淵邦芳 金沢医科大学
	組織構築とがん化	米倉秀人 金沢医科大学	

金沢医科大学大学院科目等履修生規程

(趣旨)

第1条 金沢医科大学大学院（以下「本大学院」という。）学則に規定する科目等履修生の取扱いについて定めるものとする。

(出願資格)

第2条 科目等履修生として一又は複数の授業科目の受講を志願できる者は、本大学院学則第29条に規定する者とし、選択した授業科目を履修するに十分な学力を有する者でなければならない。

(受入の時期)

第3条 科目等履修生として受入する時期は、原則として、学年の始めとする。

(出願)

第4条 科目等履修生を志願する者は、次の各号の書類に本大学院学則に定める入学検定料を添え、所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 科目等履修生入学願書
- (2) 履修科目届
- (3) 卒業証明書又は卒業見込証明書
- (4) その他必要と認める書類

2 次年度において、引き続き科目等履修生として受講を希望する場合は、前項の提出書類を一部省略することができる。

(受講の許可)

第5条 前条の志願者については、当該研究科教授会において選考の上、学長が合格者を決定する。

2 前項の合格者が、本大学院学則に定める授業料を納入したとき、学長は受講を許可する。

(受講期間)

第6条 受講期間は、受講を許可された年度内とする。ただし、希望する場合は、第4条に定める手続きを経て、これを延長することができる。

(単位の認定)

第7条 科目等履修生の受講した授業科目について、本大学院学則に基づき成績を評価する。

(単位等の証明)

第8条 単位を必要とする科目等履修生については、前条によりその修得した授業科目について修得単位の証明書の交付を求めることができる。

2 科目等履修生のうち、単位修得を必要としない場合は、受講したことの証明書の交付を求めることができる。

(インテンシブ医師系)

第9条 医学研究科に次のインテンシブ医師系を置く。

- (1) 北陸がんプロフェッショナル インテンシブ医師系
- (2) 北陸認知症プロフェッショナル インテンシブ医師系

2 各インテンシブ医師系の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

(検定料等の返還)

第10条 既に納入した入学検定料及び授業料は、返還しない。

(入学検定料の免除)

第11条 科目等履修生が次年度に継続して受講を願い出る場合は、次年度に限り入学検定料を免除する。
(科目等履修生の除籍)

第12条 在学期間中であっても、科目等履修生として適当でないと認めるときは、学長はこれを除籍することができる。
(退学)

第13条 科目等履修生が退学しようとするときは、その理由を付し学長に願い出て、許可を得なければならない。
(学内諸規則等の準用)

第14条 科目等履修生は、この規程に定めるもののほか、当該学生としての必要な事項は本学の諸規則を準用する。
(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、当該研究科教授会の審議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成20年1月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成23年9月1日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成27年4月1日から施行する。

別表 (第9条関係)

インテンシブ医師系に関する授業科目及び単位数

	授 業 科 目	単 位 数
北 陸 が ん ブ ロ フ エ ッ シ ョ ナ ル	腫瘍薬物学特論	1
	腫瘍放射線医学特論	1
	がん緩和医療学特論	1
	腫瘍病理学特論	1
	臨床腫瘍学特論	1
	がん外科学特論	1
	分子腫瘍学特論	1
	臨床統計学特論	1
	臨床栄養学特論	1
	臨床統計学演習	1
	腫瘍病理学演習	1
	分子生物学入門	1
	コンサルテーション論	1
フ エ ッ シ ョ ナ ル 北 陸 認 知 症 ブ ロ	認知症基礎	1
	認知症候学	1
	認知症検査・診断学	1
	認知症治療・予防学	1
	認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1
	認知症各論Ⅰ	1
認知症各論Ⅱ	1	

科目等履修生入学願書

平成 年 月 日

金沢医科大学長 殿

写真貼付

(たて4cm×よこ3cm)

- 1 最近3ヵ月以内に撮影したもの。
- 2 無帽上半身正面、背景無地。
- 3 写真の裏面に氏名を明記し、全面にのり付けすること

(ふりがな)

氏 名 _____ (男・女)

生年月日 _____ 年 月 日 (歳)

現住所 〒 _____

電話番号 _____ — _____

私は、下記のとおり金沢医科大学大学院の科目等履修生として入学いたしたく関係書類を添えて志願いたします。

記

1. 履修期間 平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで

2. 履修科目

科 目 名	科 目 名
①	⑥
②	⑦
③	⑧
④	⑨
⑤	⑩

注：裏面の履歴書を記入すること。

履 歴 書

	年 月	事 項
学 歴	昭和 平成 年 月	高等学校卒業
	昭和 平成 年 月	文部科学省大学入学資格検定試験高等学校卒業程度認定試験 合格
	昭和 平成 年 月	大学 学部 入学
	昭和 平成 年 月	大学 学部 卒業
	昭和 平成 年 月	
	昭和 平成 年 月	
	昭和 平成 年 月	
職 歴	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
専 門 医 資 格 等	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

(氏 名)

(印)

注：学歴は高等学校卒業以降を記入すること。